

令和 1年 8月 8日

東員町議会 広報常任委員会 委員長 山崎 まゆみ 様

東員町議会 広報常任委員会

委員長 山崎 まゆみ

## 研 修 報 告 書

|          |                                                                                                    |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 研修期間     | <u>令和 1年 8月 6日 (火) ～ 8月 7日(水)</u>                                                                  |
| 研修（視察）先  | <small>せんなんぐんみさきちよう</small><br>大阪府泉南郡岬町議会・・・（8月6日）<br><small>かなんちよう</small><br>大阪府南河内郡河南町議会…（8月7日） |
| 目的（テーマ等） | ○議会だより広報の編集について<br>～特に表紙作成について(岬町、河南町)<br>○議会広報モニター制度について（岬町）                                      |
| 資料添付の有無  | 無                                                                                                  |

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページ

〔議員氏名：山崎まゆみ 〕

## 研修概要、内容、所感

### 《研修概要》

#### 大阪部泉南郡岬町議会

副町長

中口守可さん

議会事務局長

鈴木真澄さん

議会議長

奥野 学さん

広報特別委員会 委員長

松尾 匡（ただし）さん

- ・ 14 年前に議会だより作成を辞め、12 年前から再度「議会だより・みさき」を作成し始めたこと
- ・ 町民が分かりやすく、親しまれる「議会だより」にと、リニューアルして作成編集している。リニューアル直後の反響は賛否両論であったが、表紙の似顔絵コーナーはじめ好評である。

### 《事前質問》

#### ① 表紙写真について

- ・ 特に住民から公募はせず、広報委員で表紙写真を編集
- ・ その都度テーマを掲げて表紙作成
- ・ 広報データ作成作業までを広報委員とする

#### ◎大事にしていること

- ・ 「おもしろそう！」と手に取ってもらえるような表紙。
- ・ 発刊するタイミングの季節性を持たせる

#### ◎心がけていること

- ・ 「議会って なに？」「委員会って なに？」をわかりやすく

#### ② 編集方針について

##### ★基本方針～より身近な議会に

- (1)読んでみようと思える広報紙づくり
- (2)読み手の立場に立った広報紙づくり
- (3)住民参加の広報紙づくり
- (4)議員みずからの手による広報紙づくり

○全頁フルカラー、8～12ページ構成

○町の賑わいづくりや住民の興味関心にこたえる

○表紙写真と全議員の似顔絵をコラボレーション

●一般質問＝1人につき半ページ、500文字以内

●裏表紙＝地元企業、商店の紹介をし、地域の発展を目指す

連絡先をのせ、町民の意見・要望を寄せられるように

#### ③広報モニター制度について(定数 10 名以内、任期 2 年、再任妨げない

18 歳以上、公募と議員推薦)

- ・ モニター選考については、居住地域、年齢、性別を考慮し、広く町民全体の意向が反映できるように努める

- ・議会広報委員会のアンケートに回答する
- ・モニター会議への出席
- ・予算範囲内で謝礼支給

#### 大阪府河南郡河南町議会

河南町議会事務局 局長 木矢 年謙さん

〃 課長補佐 森 弘樹さん

河南町議会 議長 野村 守さん

広報特別委員会 委員長 佐々木希絵さん

○河南魅力発信プロモーションビデオ視聴

○広報編集の取組について

- ・議会閉会から約2カ月の編集委員実務作業で発行

●読みやすいレイアウト

●見出しを追うだけで内容がわかる…討論にも見出しを付ける

●人シリーズ…住民参加

＊商売している人を取り上げる場合、商品PRにならず、  
ものづくりの想いが伝えられるように

＊同じ人が他号などで被らないように気をつける

●住民の声を載せる…その人の言葉通りに載せる。住民参画が進む

●一般質問代表質問…顔写真は臨場感、キャプションで内容がわかるよう

●今後は業者をどう使っていくか？

#### 《事前質問》

① 表紙写真について

★手に取ってもらえる表紙

- ・表紙写真は広報委員の撮影したものではない(担当ページは広報委員が撮影)
- ・表紙のテーマは町内の季節感感じられる植物(H29)、子ども(H30)
- ・表紙人物写真はできるだけアップで動きがあるようなものを心掛けている

② 編集方針

- ・特に定めてないが、どなたにも読んでもらえるよう、タイムリーなものを掲載できるように努めている

③住民参加

- ・住民にとって重要な施策の時に住民の声を掲載したことがある
- ・裏表紙＝「人シリーズ」…様々な分野で活躍している人、その道の達人の紹介をし、住民が登場する企画に取り組んでいる

#### 《研修所感》

今年度の広報委員会の活動計画を委員会で話し合う時に、委員の大半が「表紙の重要性を考える」「表紙作成」「表紙写真の撮り方」という意見で、視察の目的もそのような観点で、過去に議会広報紙全国コンクールで上位を受賞された議会を訪問し、議会だよりの表紙作りの極意を学ばせていただこうと、視察先を岬町と河南町に決定しました。

確かに受賞された作品(広報紙の表紙)は、全国コンクール審査基準を満たし、素晴らしい表紙でした。①表現力が豊かであること②写真の構図がしっかりしていること③読者

の興味を誘うようなインパクトのある写真であること④表紙写真と文字情報とのバランスが適当であること。これらの要件の重要性を理解できても、実際にはなかなか難しいことばかりです。岬町、河南町ともに、全国広報コンクールで受賞されただけあって、企画編集に大変力を入れてみえました。議会広報委員の皆さんの懸命に努力してみえる様子がうかがわれました。

特に印象的であったのは、議会への住民の関心を高める工夫がありました。まず第一に住民の声をよく取り上げられている点です。住民に親しまれる、手に取ってみたいくなる表紙、そして内容でした。

次に個性的、独創的な企画がありました。議会だより中止の2年間を経て、紙面リニューアルして議会だよりを再スタートされた岬町さんの議会だよりには挑戦、冒険があり、大胆なリニューアルに賛否両論の住民の声、否定的意見も多々あったそうですが、回を重ねるごとに受け入れられてきたというお話は、とても興味深かったです。

両町それぞれの議会だより広報委員さんから逆に、東員町議会だより編集についてご質問もいただきました。“見易さ、わかり易さ”、“公平で公正な編集”、“議会定例会の翌月第3週には町民の手にとというスピード発行”の東員町議会広報編集の取組みについて、感心されました。第三者評価はとても勇気づけられ、励まされる思いでした。

『東員町議会だより編集方針』に記載されているように、先輩議員からの手法を引き継ぎながら、さらに改善を重ね、より良い広報紙を目指していきたいという想いを強くしました。今回の研修参加の委員の意見交換、総括をもとに、1つでも良いから新しい企画を作ったり、特に住民参画について検討出来れば良いと思います。

広報モニター制度についても前向きに検討していきたいと思います。

表紙写真の撮影技術の詳細についての新たな知識は得られませんでした。が、広報表紙は議会だより広報への期待感を抱かせるもの、表紙は玄関である、という言葉もあるくらいですから、今まで以上に表紙作成には、委員会での検討に時間を割き、より良い議会だより表紙作成に努めていきたい、「手にしてもらえらる広報」「表紙を見て中がすぐに読み始めたくなる広報」を目指したいと思います。

今回の視察研修では両町の皆さん、事務局に大変お世話になりました。感謝いたします。